

記載例

様式第2号の2

原則として、災害を目撃した者に現認書を記載いただく。

現 認 書

被災職員	氏名	秋田春男
	所属部局・課・係	〇〇部△△課
	災害の日時	令和7年7月8日(火) 午前10時30分
	災害の場所	〇〇市〇〇丁目〇〇番地先の市道

現認状況

現認者と被災職員の間を記入する。

私は被災職員の同僚の者です。

被災当日、午前10時30分頃、私は秋田春男ほか4名と共に〇〇市〇〇丁目〇〇番地先の市道で草刈り作業に従事していました。

作業着及びゴーグルを着用し、草刈り機を使用して作業していたところ、私の隣で作業をしていた被災職員が「痛い」と声をあげたので見ると、被災職員が右の頬を押さえて座り込んでおり、周辺を蜂が飛んでいるのを見ました。

携帯していた殺虫剤スプレーで蜂を追い払い、何が起きたかを訊くと、突然現れた蜂に右の頬を刺されたようで、刺された箇所が赤くなっていました。

直ぐに△△課の上司に連絡したところ、被災職員を連れて病院へ行くよう指示を受けました。

災害の後の行動(病院受診等)まで記載する。

上記のとおり相違ありません。

令和7年7月10日

災害を目撃した者は又は災害現場に居合わせた者が、実際に見たままに記載する。

住所 〇〇市二丁目6番  
現認者 所属、職 〇〇部△△課 道路維持作業員  
氏名 佐藤一郎

(注) 1 この書類は、災害の目撃者に作成してもらうこと。ただし、目撃者がいない場合には、「現認書」に替えて、報告した相手(上司等)から「災害状況報告書」を作成してもらうこと。

2 現認状況はできるだけ詳記してもらうこと。